

令和6年度 専攻科学生募集要項

〔 入 学 案 内 〕
〔 出 願 書 類 添 付 〕

【海事システム学専攻・生産システム工学専攻】

選 抜 区 分		願書受付期間 (平日のみ受付)	選 抜 試 験 日	合 格 発 表 日
推薦による 選 抜	一般推薦	令和5年4月17日(月) ～4月21日(金)	令和5年5月12日(金)	令和5年5月25日(木)
	社会人推薦			
学力による 選 抜	前期日程	令和5年8月17日(木) ～8月21日(月)	令和5年8月28日(月)	令和5年9月14日(木)
	後期日程	令和5年10月16日(月) ～10月20日(金)	令和5年11月1日(水)	令和5年11月17日(金)

独立行政法人 国立高等専門学校機構



鳥羽商船高等専門学校

〒517-8501 三重県鳥羽市池上町1番1号
学生課教務係 電話(0599)25-8404

E-mail gakusei-kyomu@toba-cmt.ac.jp

ホームページアドレス <https://www.toba-cmt.ac.jp>

目 次

I 募集人員	1
II アドミッションポリシー（入学者受入方針）	1
III 入学者選抜の方針と選抜方法	2
IV 推薦による選抜	3
V 学力による選抜	6
VI その他（各選抜共通）	10

◎本要項に添付されている、出願に必要な本校所定の用紙は次のとおりです。

- 1 入学願書
- 2 写真票・受験票
- 3 推薦書（一般推薦選抜用）
- 4 推薦書（一般推薦（本校の卒業見込み者））
- 5 推薦書（社会人推薦選抜用）
- 6 調査書
- 7 志望調書（一般推薦選抜・学力選抜用）
- 8 志望調書（社会人推薦選抜用）
- 9 入学検定料銀行取扱（振込取扱）期間
- 10 検定料振込用紙
- 11 入学検定料を郵便局（ゆうちょ銀行）から振り込む場合の注意点

令和6年度 専攻科学生募集要項

I 募集人員

海事システム学専攻 4名 令和6年10月入学

生産システム工学専攻 8名 令和6年4月入学

II アドミッションポリシー (入学者受入方針)

1. 教育目標

本校の専攻科は、基礎となる本科教育の上に高度の専門的学術を教授し、専門領域の幅を拡大するとともに国際的感覚と広い視野を持って、研究・技術開発能力、創造能力を発揮できる実践的専門技術者を育てることが目標です。

2. 本校が求める学生像

- ① 専門分野に関する開発能力の向上を目指す人
- ② 複合的視点で社会的問題を捉えることのできる人
- ③ 国際的な感覚を持ち自律した技術者を目指す人

Ⅲ 入学者選抜の方針と選抜方法

本専攻科が実施する教育を受けるのに必要な基礎学力があり、求める学生像に合った人物の選抜のため、「推薦による選抜」、「学力による選抜」を行います。

1. 推薦による選抜

学校長等の推薦から、本専攻科が実施する教育を受けるのに必要な基礎学力があり、求める学生像に合っていると考えられる人、もしくは高等専門学校を卒業した者で、かつ出願時において企業等の在職期間が1年以上あり、所属する企業等の長が勤務成績及び人物とも優秀であると認め推薦し、在職のまま入学を希望する人に対して、高等専門学校本科における調査書の評点と意欲・表現力・適性・専門基礎知識などに関する面接試験の結果により、必要な基礎学力があり、求める学生像に合っているかを総合的に評価し選抜します。

2. 学力による選抜

学力による選抜においては、所属学校における調査書の評点と数学の筆記試験、TOEICのスコア、意欲・表現力・適性・専門基礎知識などに関する面接試験の結果により、本専攻科が実施する教育を受けるのに必要な基礎学力があり、求める学生像に合っているかを総合的に評価し選抜します。

選 抜 区 分		選 抜 試 験 日
推薦による選抜	一 般 推 薦	令和5年 5月12日 (金)
	社 会 人 推 薦	
学力による選抜	前 期 日 程	令和5年 8月28日 (月)
	後 期 日 程	令和5年 11月1日 (水)

※入学予定者数が募集人員に満たない場合は、二次募集を行うことがあります。

IV 推薦による選抜

推薦による選抜は、「一般推薦」と「社会人推薦」の2種類の選抜があります。

1. 出願資格

次の要件に該当する者

一般推薦

【海事システム学専攻】

令和6年9月に高等専門学校（商船学科に限る）を卒業見込みの者で、人物、学業、健康ともに優れていると認められる者。

合格した場合、確実に入学する意思がある者。

本校以外及び本校（商船学科）入学年度が平成30年度以前の出願者は、出願を希望する日程の願書受付期間の前週までに、取得できる学位等について鳥羽商船高等専門学校学生課教務係に必ず確認してください。

【生産システム工学専攻】

令和6年3月に高等専門学校を卒業見込みの者で、人物、学業、健康ともに優れていると認められる者。

合格した場合、確実に入学する意思がある者。

本校以外及び本校（電子機械工学科または、制御情報工学科）入学年度が平成30年度以前の出願者は、出願を希望する日程の願書受付期間の前週までに、取得できる学位等について鳥羽商船高等専門学校学生課教務係に必ず確認してください。

社会人推薦

【海事システム学専攻・生産システム工学専攻共通】

高等専門学校を卒業した者で、かつ出願時において企業等の在職期間が1年以上あり、所属する企業等の長が勤務成績及び人物とも優秀であると認め推薦し、在職のまま入学を希望する者。

合格した場合、確実に入学する意思がある者。

出願を希望する日程の願書受付期間の前週までに、取得できる学位等について鳥羽商船高等専門学校学生課教務係に必ず確認してください。

2. 出願手続

(1) 願書受付

- ① 期 間 令和5年4月17日(月)～21日(金)
 ② 時 間 平日 9時～16時
 ③ 場 所 鳥羽商船高等専門学校 学生課教務係
 〒517-8501 三重県鳥羽市池上町1番1号
 電話(0599)25-8404

なお、郵送の場合は、必ず書留郵便とし、封筒に「専攻科出願書類在中」と朱書きしてください。

(2) 出願書類等

① 入 学 願 書	本校所定の用紙に必要事項を記入してください。
② 写 真 票	本校所定の用紙に必要事項を記入のうえ、最近3ヶ月以内に撮影した上半身・正面脱帽の写真(縦4cm×横3cm)を貼付してください。
③ 受 験 票	本校所定の用紙に必要事項を記入してください。
④ 推 薦 書	<ul style="list-style-type: none"> ・一般推薦 本校所定の用紙により学校長が作成してください。(鳥羽商船高等専門学校卒業見込みの者は、在籍学科長が推薦するものとする。) ・社会人推薦 本校所定の用紙により、所属長が作成してください。
⑤ 調 査 書	本校所定の用紙により学校長が作成し厳封してください。
⑥ 志 望 調 書	本校所定の用紙により志願者が作成してください。
⑦ 入 学 検 定 料	本校所定の「振込依頼票」に必要事項を記入のうえ、 検定料16,500円 を最寄りの銀行から本校指定の送り先(振込依頼票に記載)へ電信扱いで振り込んでください。(現金自動預払機(ATM)による振り込みは不可) なお、ゆうちょ銀行から振り込む場合は、振込依頼票が異なります。詳細は巻末をご覧ください。
⑧ 振込金通知書 (学校提出用) 又は振込受付書	取扱銀行収納印が必要です。ゆうちょ銀行で振り込まれた場合は、振込受付書を提出してください。
⑨ 返信用封筒	受験票等を送付するための封筒です。 封筒に郵便番号・住所・氏名を明記し、344円切手(速達)を貼付してください。持参の場合は不要です。
⑩ そ の 他	現に日本国に在住している外国人は、市区町村長の交付する「住民票」(コピー不可)を提出してください。

3. 選抜の方法

入学者の選抜は、面接試験、学校長等から提出された推薦書、調査書、志望調書の内容等を総合判定して行います。

(1) 推薦選抜の期日及び場所

選 抜 区 分	期 日	場 所
一 般 推 薦	令和5年5月12日（金）	鳥羽商船高等専門学校
社会人推薦		

(2) 推薦選抜の科目及び時間

科 目	時 間
面接試験	9：30～

(3) 科目及び出題範囲等

科 目	選 抜 内 容	配 点
面接試験 (志望調書等を含む)	専門科目に関する口頭試問を含みます。	120 点
取得単位	調査書による評点	90 点
合 計		210 点

4. 受験上の注意事項

- (1) 面接当日は、**9時10分**までに受付をすませてください。
- (2) 受験票及び筆記用具は、必ず持参してください。

5. 合格者の発表

令和5年5月25日（木）午前10時に本校に掲示するとともに、「一般推薦」については、学校長あてに合否を文書で通知し、「社会人推薦」については、受験者全員に合否を文書で通知します。併せて合格者には「合格通知書」を送付します。また、本校ホームページに合格者の受験番号を掲載します。

なお、電話等による照会には一切応じません。

6. 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、「入学確約書」を令和5年6月1日（木）までに学生課教務係へ提出してください。

なお、期限までに「入学確約書」を提出しない者は、入学の意思がないものとして取り扱います。

7. 「推薦による選抜」で不合格となった者の取扱い

「推薦による選抜」の結果不合格となった者で、「学力による選抜」の受験を希望する者は、「学力による選抜」に定めるところにより、再度出願の手続きを行ってください。なお、この際は「調査書」の提出は要しませんが、検定料は必要です。

8. 入学手続き等

入学手続日、入学に必要な書類及び経費等については、「入学確約書」提出者に後日通知します。

V 学力による選抜

1. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

前期日程・後期日程（共通）

【海事システム学専攻】

高等専門学校を卒業した者又は令和 6 年 9 月卒業見込みの者。

本校以外及び本校（商船学科）入学年度が平成 30 年度以前の出願者は、出願を希望する日程の願書受付期間の前週までに、取得できる学位等について鳥羽商船高等専門学校学生課教務係に必ず確認してください。

【生産システム工学専攻】

- (1) 高等専門学校を卒業した者又は令和 6 年 3 月に卒業見込みの者
- (2) 短期大学を卒業した者又は令和 6 年 3 月に卒業見込みの者
- (3) 専修学校の専門課程を修了した者又は令和 6 年 3 月に修了見込みの者のうち学校教育法第 132 条の規定により大学に編入学することができる者
- (4) 外国において、学校教育における 14 年の課程を修了した者
- (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 14 年の課程を修了した者
- (6) 我が国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 14 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (7) その他、本校が高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

本校以外及び本校（電子機械工学科または、制御情報工学科）入学年度が

平成 30 年度以前の出願者は、出願を希望する日程の願書受付期間の前週までに、取得できる学位等について鳥羽商船高等専門学校学生課教務係に必ず確認してください。

2. 海技試験特例適用について（海事システム学専攻のみ）

海技士国家試験二級（航海）または（機関）以上の筆記試験を合格した者は、海事システム学専攻 学力による選抜において、海技試験特例適用を選択することができます。（以下、「海技試験特例適用者」という。）海技試験特例適用者は、学力筆記試験を免除します。

3. 出願手続

(1) 願書受付

① 期 間 <学力による選抜 前期日程>

令和 5 年 8 月 17 日（木）～ 21 日（月）

<学力による選抜 後期日程>

令和 5 年 10 月 16 日（月）～ 20 日（金）

② 時 間 平日 9 時～16 時

③ 場 所 鳥羽商船高等専門学校 学生課教務係

〒517-8501 三重県鳥羽市池上町 1 番 1 号

電話 (0599) 25-8404

なお、郵送の場合は、必ず書留郵便とし、封筒に「専攻科出願書類在中」と朱書きしてください。

(2) 出願書類等

① 入 学 願 書	本校所定の用紙に必要事項を記入してください。
② 写 真 票	本校所定の用紙に必要事項を記入のうえ、最近 3 ヶ月以内に撮影した上半身・正面脱帽の写真（縦 4cm×横 3cm）を貼付してください。
③ 受 験 票	本校所定の用紙に必要事項を記入してください。
④ 調 査 書	本校所定の用紙により学校長が作成し厳封してください。
⑤ 海技士国家試験筆記試験合格証明書(写) (海技試験特例適用者のみ)	海技士国家試験二級（航海）または（機関）以上の筆記試験の国土交通省発行の合格証明書であること。科目合格証明書ではありません。 <u>なお、試験当日は、原本を持参してください。</u>

⑥ TOEIC L&R テスト 公式認定書 (写) 《IP 試験の場合は、 スコアレポート (写)》	試験日から過去 2 年以内に受験したものに限り ます。 試験当日は、 <u>原本を持参してください。</u> なお、IP 試験 (オンライン) では、教員による試験監督 の下で受験したことを証明する書類 (書式自由) を添付 したスコアレポートに限り ます。
⑦ 入学検定料	本校所定の「振込依頼票」に必要事項を記入のうえ、 検 定料 16,500 円 を最寄りの銀行から本校指定の送り先 (振 込依頼票に記載) へ電信扱いで振り込んでください。(現 金自動預払機 (ATM) による振り込みは不可) なお、ゆうちょ銀行から振り込む場合は、振込依頼票が 異なります。詳細は巻末をご覧ください。
⑧ 志望調書	本校所定の用紙により志願者が作成してください。
⑨ 振込金通知書 (学校提出用) 又は振込受付書	取扱銀行収納印が必要です。ゆうちょ銀行で振り込まれ た場合は、振込受付書を提出してください。
⑩ 返信用封筒	受験票等を送付するための封筒です。 封筒に郵便番号・住所・氏名を明記し、344 円切手(速達) を貼付してください。持参の場合は不要です。
⑪ その他	現に日本国に在住している外国人は、市区町村長の交付 する「住民票」(コピー不可) を提出してください。

4. 選抜の方法

入学者の選抜は、学力試験、面接試験、志望調書、TOEIC L&R スコア及び調
査書の内容等を総合判定して行います。

なお、海技試験特例適用者については、学力試験を免除します。(海事システ
ム学専攻のみ)

(1) 学力選抜の期日及び場所

選 抜 区 分	期 日	場 所
学力による選抜 前期日程	令和 5 年 8 月 28 日 (月)	鳥羽商船高等専門学校
学力による選抜 後期日程	令和 5 年 11 月 1 日 (水)	

(2) 学力試験の科目及び時間

科目	時間
数 学	9 : 00～10 : 00
面接試験	10 : 30～

(3) 科目及び出題範囲等

科目	選 抜 内 容 ・ 出 題 範 囲 等	配 点
学力試験 (※1)	基礎数学、微分積分、線形代数	100 点
面接試験 (志望調書 等を含む)	卒業研究のテーマについて、ホワイトボードもしくはプロジェクタを用いて 7 分間程度のプレゼンテーションを行ってください。卒業研究のテーマについてのプレゼンテーションが困難な場合は、専攻科入学後に取り組んでみたい研究テーマについて行ってください。また、その発表内容に関連した事項についての口頭試問が課せられます。(※2)	120 点
TOEIC L&R スコア	英語については筆記試験を行わず、TOEIC L&R テスト (IP 試験を含む) のスコアで判定します。点数換算は以下の通りです。 (英語点数) = (TOEIC L&R スコア - 100) ÷ 5 ※ 小数点以下四捨五入。 ※ TOEIC L&R スコア 600 点以上は英語点数 100 点とし、TOEIC L&R スコア 100 点以下は英語点数 0 点とします。	100 点
取得単位	調査書における評点	90 点
合 計		410 点

(※1) 海技試験特例適用者は、学力試験相当として 80 点を配点し、学力筆記試験を免除する。(海事システム学専攻のみ)

(※2) 面接試験で、プロジェクタを使用する場合、ノートパソコン等は各自で用意してください。

5. 受験上の注意事項

(1) 学力試験当日は、下記時間までに受付をすませてください。

学力試験受験者 8 時 40 分まで

海技試験特例適用者 10 時 10 分まで

(2) 受験票及び筆記用具は、必ず持参してください。

6. 合格者の発表

「学力による選抜 前期日程」については、令和 5 年 9 月 14 日 (木) 午前 10 時、「学力による選抜 後期日程」については、令和 5 年 11 月 17 日 (金) 午前 10 時に本校に掲示するとともに、学校長あてに合否を文書で通知します。併せて

合格者には「合格通知書」を送付します。

また、本校ホームページに合格者の受験番号を掲載します。

なお、電話等による照会には一切応じません。

7. 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、「入学確約書」を「学力による選抜 前期日程」については、令和5年9月25日（月）、「学力による選抜 後期日程」については、令和5年12月4日（月）までに学生課教務係へ提出してください。

なお、期限までに「入学確約書」を提出しない者は、入学の意思がないものとして取り扱います。

8. 「学力による選抜 前期日程」で不合格となった者の取扱い

「学力による選抜 前期日程」の結果不合格となった者で、「学力による選抜 後期日程」の受験を希望する者は、「V 学力による選抜」に定めるところにより、再度出願の手続きを行ってください。なお、この際は「調査書」の提出は要しませんが、TOEIC スコア（写）と検定料は必要です。海技試験特例適用者は、海技士国家試験筆記試験合格証明書（写）も必要となります。

9. 入学手続き等

入学手続き日、入学に必要な書類及び経費等については、「入学確約書」提出者に後日通知します。

VI その他（各選抜共通）

1. 出願手続きの照会先

〒517-8501 三重県鳥羽市池上町1番1号
鳥羽商船高等専門学校 学生課教務係
電話（0599）25-8404

2. 入学時期

海事システム学専攻 令和6年10月入学
生産システム工学専攻 令和6年4月入学

3. 入学時に必要な経費

費目	金額	備考
入学料	84,600円	
授業料	117,300円（前期分）	年額234,600円

（注）在学中に授業料等の改定が行なわれた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

その他、教科書代、奨学後援会会費、学生会会費などが必要となります。

4. 入学料・授業料等の免除・徴収猶予制度

(1) 入学料

入学前1年以内において、入学する者の学資を主として負担している者が死亡したり、風水害等の災害を受けたりした場合など特別な事情により入学料の納付が著しく困難であると認められる者には、申請に基づき選考のうえ、入学料の全額または半額を免除し、あるいは徴収を猶予する制度があります。

(2) 授業料

経済的理由によって、納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる者、風水害等による災害を受け、納付困難と認められる者には、申請に基づき選考のうえ、授業料の全額または半額を免除する制度があります。

5. 奨学金貸与制度

独立行政法人日本学生支援機構の規定に基づき、人物・学業ともに優秀かつ健康であって学資の支払いが困難と認められる者に対し、本人の申請に基づき、選考の上、奨学金が貸与される制度があります。

6. 個人情報の取扱いについて

入学志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価といった入学者選抜を通して取得した個人情報は、入学者選抜の資料として使用するとともに、次の目的のためにも利用します。

(1) 入学後の教育・指導

(2) 入学料、授業料の免除申請の審査

(3) 奨学金申請の審査

(4) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度改善のための調査研究

7. 学士の学位取得方法

本校専攻科で単位を修得し、一定の条件を満たした者については、大学改革支援・学位授与機構の審査により、学士の学位を取得できます。

本校専攻科修了時に取得可能な学位は、本校商船学科、情報機械システム工学科、電子機械工学科、制御情報工学科を卒業した場合、以下となります。なお、他の専攻の区分での学士の取得を希望している場合や本校を卒業していない出願者は、出願を希望する日程の願書受付期間の一週間前までに、取得できる学位等について鳥羽商船高等専門学校 学生課教務係に必ず確認して下さい。

専攻科	取得可能な学位	備考
海事システム学専攻	学士（商船学）	本校商船学科を卒業した場合
生産システム工学専攻	学士（機械工学） 学士（電気電子工学） 学士（情報工学）	本校情報機械システム工学科を卒業した場合は左記いずれかの学位（予定）
	学士（機械工学） 学士（電気電子工学）	本校電子機械工学科を卒業した場合は左記いずれかの学位（※1）
	学士（電気電子工学） 学士（情報工学）	本校制御情報工学科を卒業した場合は左記いずれかの学位（※2）

- (※1) 本科在籍時の取得科目により「情報工学」の学位取得が可能な場合もあります。
- (※2) 本科在籍時の取得科目により「機械工学」の学位取得が可能な場合もあります。

8. その他

- (1) 振込済の入学検定料は、次の場合を除き返還しません。
- ①入学検定料を振り込んだが、出願書類を提出しなかった場合又は出願が受理されなかった場合。
 - ②誤って入学検定料を二重に振り込んだ場合。
- (2) 出願書類に虚偽の記載のあった場合は入学を取り消すことがあります。
- (3) 氏名等に用いられる漢字にコンピュータで表記できない文字が含まれている場合は、合格通知書等で用いる漢字を JIS 漢字コードの第 1・第 2 水準の文字またはカタカナに置き換える場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- (4) 入学願書提出後に住所（郵便受取先）を変更したときは、直ちに鳥羽商船高等専門学校学生課教務係に届け出てください。
- (5) 学寮につきましては、定員の関係上、受入れておりません。
- (6) 鳥羽商船高等専門学校では、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」「文部科学省所管事業分野における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応指針」及び、「独立行政法人国立高等専門学校機構における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」に則り、障害等による支援ニーズのある学生に対して、受験上または修学上の合理的配慮の提供を行っています。

入学者選抜において障害等を理由とした合理的配慮の提供を希望する者は、早めに鳥羽商船高専学生課教務係までご相談ください。なお、合理的配慮の提供には準備に時間がかかることもあるため、推薦による選抜においては、入学願書提出期限の2週間前にあたる令和5年4月7日、学力による選抜においては、入学願書提出期限の一か月前にあたる令和5年7月21日（前期日程）または令和5年9月20日（後期日程）を過ぎてからの相談及び申請では準備期間が短くなり、希望する合理的配慮を受けられず、安心して試験を受けられなくなる可能性があることに注意してください。

必要に応じて、受験者、受験者の保護者及び、在籍する学校関係者に対して、相談された内容について質問する場合がありますが、合理的配慮に関する申請及び問い合わせ内容は入学者選抜の合否判定には一切影響ありません。

入試の公平性を担保するため、合理的配慮提供の根拠となる資料の提出を求める場合があります。必要となる根拠資料に関しては、文部科学省「障害のある学生の修学支援に関する検討会報告（第二次まとめ）」によって示されている、1) 障害者手帳の種別・等級・区分認定、2) 適切な医学的診断基準に基づいた診断書、3) 標準化された心理検査等の結果、4) 専門家の所見、5) 出身学校等入学前の支援状況に関する資料、6) 本人が自らの障害の状況を客観的に把握・分析した説明資料等が該当します。

※根拠資料に関しては提出の要不要に関しても学生課教務係までご相談ください。ご提出いただく根拠資料としての要件を満たしているかどうか、担当係において確

認いたします。満たしていない場合は、その理由を明示したうえで再提出を求めることがあります。

(お願い)

入学後に修学上の合理的配慮が必要な場合には、合理的配慮提供のための準備を十分に行うために、出願前の可能な限り早い段階で「事前相談」を受けていただきますようお願いいたします。入試後、または入学後に合理的配慮に関して初めて申請なされると、修学に必要な支援を十分に受けられなくなる可能性があります。なお、事前相談を受けられても、入学者選抜の合否判定には一切影響ありません。

相談窓口

鳥羽商船高等専門学校教務係 電話 (0599) 25-8404
〒517-8501 三重県鳥羽市池上町1番1号

令和6年度 専攻科 入学願書

鳥羽商船高等専門学校

志望専攻		専攻	受験番号	※
志 願 者	フリガナ		試験区分	1 推薦選抜 (一般・社会人)
	氏名	昭和・平成 年 月 日生		2 学力選抜 (前期・後期)
				<input type="checkbox"/> 海技試験特例適用
	フリガナ			
	現住所	〒 —		
		電話 () —		
	出身校	高等専門学校 学科 短期大学 科 専修学校 科 (平成・令和 年 月 卒業・卒業見込み・修了・修了見込み)		
		〒 —		
		所在地		
		電話 () —		
中 学 校 卒 業 後 の 学 歴 及 び 職 歴	自 平成・令和 年 月			
	至 平成・令和 年 月			
	自 平成・令和 年 月			
	至 平成・令和 年 月			
	自 平成・令和 年 月			
	至 平成・令和 年 月			
勤 務 先	名 称 (部課まで)			
	所在地	〒 — 所在地 電話 () —		

- [記入上の注意]
- ※印欄は記入しないでください。
 - 該当事項は○で囲んでください。
 - 海技試験特例適用を選択する場合は□にレ点を入れてください。
 - 中学校卒業後の学歴及び職歴の記入欄が不足する場合は、別紙(任意)を添付してください。
 - 勤務先欄は、企業等に在職のまま入学を希望する者のみ記入してください。

令和6年度 専攻科入学

写真票

鳥羽商船高等専門学校

受験番号	※
志望専攻	専攻
フリガナ 氏名	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"><p>写真欄</p><p>1. 写真は正面、上半身、 脱帽 (4 cm×3 cm)</p><p>2. 最近3か月以内に撮 影したもの。</p><p>3. 全体をのりつけして ください。</p></div>	

※印欄は、記入しないでください。

令和6年度 専攻科入学

受験票

鳥羽商船高等専門学校

受験番号	※
志望専攻	専攻
フリガナ 氏名	
<p>試験日時</p> <p>推薦選抜 月 日 () 時 分から</p> <p>学力選抜 月 日 () 時 分から</p> <p>試験場所</p> <p>鳥羽商船高等専門学校</p>	
<p>・ 受験者は試験開始 20 分前までに受付 をすませてください。</p>	

※印欄は、記入しないでください。

きり
り
は
な
さ
な
い
で
く
だ
さ
い

きりとり線

一般推薦選抜用

受験番号	※
------	---

※印欄は、記入しないでください。

推 薦 書

令和 年 月 日

鳥羽商船高等専門学校長 殿

学校名

学校長



下記の者は、学業成績、人物ともに優秀であり、貴校専攻科入学者としてふさわしい
資質を持つ者として認め推薦いたします。

記

志 望 専 攻	専 攻			
フリガナ 氏 名		男 ・ 女	所属学科	学科
			生年月日	昭和・平成 年 月 日生
推 薦 理 由				
そ の 他 参 考 事 項				

一般推薦選抜用
(本校の卒業見込み者)

受験番号	※
------	---

※印欄は、記入しないでください。

推 薦 書

令和 年 月 日

鳥羽商船高等専門学校長 殿

鳥羽商船高等専門学校

_____学科長



下記の者は、学業成績、人物ともに優秀であり、本校専攻科入学者としてふさわしい
資質を持つ者として認め推薦いたします。

記

志望専攻	専攻			
フリガナ 氏名		男・女	所属学科	学科
			生年月日	昭和・平成 年 月 日生
推薦理由				
その他参考事項				

社会人推薦選抜用

受験番号	※
------	---

※印欄は、記入しないでください。

推 薦 書

令和 年 月 日

鳥羽商船高等専門学校長 殿

所 在 地

企 業 等 名

所属企業等の長

印

下記の者は、貴校専攻科入学者としてふさわしい資質を持つ者として認め出願を承諾し推薦いたします。

記

1 出願者氏名

2 生 年 月 日 昭和 年 月 日生
平成

3 所属部・課・係

4 特 記 事 項

令和6年度鳥羽商船高等専門学校専攻科

調 査 書

志望専攻	専攻			受験番号	※
フリガナ 氏名 生年月日	昭和・平成 年 月 日生		男・女	学校 学科名	国立 高等専門学校 公立 短期大学 私立 専門学校 学科
平成・令和 年 月 入学 編入学 転入学			平成・令和 年 月 卒業・卒業見込 修了・修了見込		
成績証明書	出身学校所定の用紙を使用し、当該学校長（学長）が作成したものを添付してください。修得単位数が明記されているもの（成績の評定基準を右表に明示してください。）		評 定 基 準	評定の区分	点数の範囲
					点～ 点
					点～ 点
					点～ 点
					点～ 点
学科内席次	1年	人中 位	4年	人中 位	
	2年	人中 位	5年	人中 位	
	3年	人中 位			
卒業研究 題目					
卒業研究 要旨					
在学中の 状況					
上記の通り相違ないことを証明する。					
令和 年 月 日					
学 校 名					
学校長・学長名					
印					

[記入上の注意] 1 ※印は、記入しないでください。

2 在学中の状況欄は、人物・課外活動・生活態度等を記入してください。

受験番号※ _____

志望調書（一般推薦選抜・学力選抜用）

出身学校 _____ 出身学科 _____ 氏名 _____

※ 志願者は、受験番号を記入しないでください

- ・ これは、専門技術者になるために専攻科へ入学する意志が強く、専攻科が求める能力を身に付けることができる資質を持つか判断するための調書です
 - ・ 志望調書の内容について、電話等で問い合わせる場合があります
 - ・ 設問について、指定の文字数以内で述べてください（ワープロ使用を推奨、2 ページ以内、図表は不可）
- 1 鳥羽商船高専の志望専攻を選んだ動機と目的（200 字以内）

- 2 将来の夢、希望する修了後の進路とその理由（200 字以内）

- 3 印象に残っている高専在学中の実験や実習（練習船の実習は除く）の内容とその理由（200 字以内）

- 4 専攻科で取り組みたい特別研究のテーマとその理由（200 字以内）

5 希望の特別研究の指導教員名とその理由（80字以内）

（※設問5について：本校教員についてはホームページで調べてください。諸事情で希望の指導教員とならない場合があります）

6 学生時代に熱心に取り組んだことについて

6.1 取り組んだことの内容（120字以内）

6.2 その中で一番苦労した（大変だった）こと（120字以内）

6.3 それを乗り越えるためにした工夫（120字以内）

6.4 その経験から得られたもの（120字以内）

7 入学後の通学方法（120字以内）

受験番号※ _____

志望調書（社会人推薦選抜用）

出身学校 _____ 出身学科 _____ 氏名 _____

※ 志願者は、受験番号を記入しないでください

- ・ これは、専門技術者になるために専攻科へ入学する意志が強く、専攻科が求める能力を身に付けることができる資質を持つか判断するための調書です
- ・ 志望調書の内容について、電話等で問い合わせる場合があります
- ・ 設問について、指定の文字数以内で述べてください（ワープロ使用を推奨、2 ページ以内、図表は不可）

1 鳥羽商船高専の志望専攻を選んだ動機と目的（200 字以内）

2 高専在学中の卒業研究の内容（200 字以内）

3 専攻科で取り組みたい特別研究のテーマとその理由（200 字以内）

4 希望の特別研究の指導教員名とその理由（80 字以内）

（※設問 4 について：本校教員についてはホームページで調べてください。諸事情で希望の指導教員とならない場合があります）

5 社会人として熱心に取り組んだことについて

5.1 取り組んだことの内容 (120 字以内)

5.2 その中で一番苦勞した (大変だった) こと (120 字以内)

5.3 それを乗り越えるためにした工夫 (120 字以内)

5.4 その経験から得られたもの (120 字以内)

6 入学後の通学方法 (120 字以内)

○ 入学検定料銀行取扱（振込取扱）期間

専攻科選抜区分別の入学検定料銀行取扱（振込取扱）期間は、次表の通りとなっておりますので、よくご確認のうえ別紙検定料振込用紙により振り込んでください。

なお、別紙検定料振込用紙の振込依頼票の銀行取扱期間の欄に、次表の該当する銀行取扱期間の日付を記入して振り込んでください。

選 抜 区 分	選 抜 試 験 日	検定料銀行取扱期間 (振込取扱期間)
推薦による選抜 (一般推薦・社会人推薦)	令和5年5月12日(金)	令和5年4月10日(月) ～4月21日(金)
学力による選抜 (前期日程)	令和5年8月28日(月)	令和5年8月8日(火) ～8月21日(月)
学力による選抜 (後期日程)	令和5年11月1日(水)	令和5年10月10日(火) ～10月20日(金)